

～昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性の方へ～

風しん抗体検査を受けましょう！

2018年以降、風しんにかかる方が増加していることを受け、国はこれまで風しん予防接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性に対し、風しん抗体検査と、風しん抗体のない方には予防接種を受けるよう勧奨しています。

対象者には5月に無料クーポン券を送付しています。転入等でクーポンをお持ちでない方は、クーポンを発行しますのでご連絡ください。

風しんとは 咳やくしゃみなどにより人から人へ感染する、感染力が強い病気です。風邪によく似ており、感染すると発熱、発疹、リンパ節腫脹といった症状が見られ、多くの場合は数日で治りますが、成人がかかると症状が長引いたり1週間以上仕事を休まなければならない場合もあります。

また、妊娠中の女性が風しんに感染することによって、子どもに眼や耳、心臓等の障がいを含む先天性風しん症候群が生じる可能性があります。

○抗体検査を受けるには

- ・ 職場健診、または幌延町国保診療所で受けることができます。
- ・ 幌延町国保診療所は完全予約制です。
- ・ そのほか、全国の実施指定医療機関で受診することができます。

インターネット「厚生労働省 風しん抗体検査 医療機関」で検索することができます。事前に医療機関へ問い合わせをしてから受診してください。



お問い合わせ先：保健福祉課 保健グループ 電話・告知端末機：5-1790

令和2年度 幌延町における電源三法交付金の使い道

①電源立地地域対策交付金 1億5,061万9千円

- 幌延町国民健康保険診療所運営費…………… 7,000万円
- 幌延町保健センター運営費…………… 500万円
- 幌延町認定こども園・幌延町立問寒別へき地保育所運営費…………… 3,500万円
- 北留萌消防組合幌延支署運営費…………… 4,061万9千円

※電源立地地域対策交付金を国保診療所運営経費等に充当することにより、地域の活性化や福祉の充実を図っています。

②広報・調査等交付金 1,260万円

- エネルギー関連施設見学会等…………… 1,035万2千円
- 深地層の研究等広報事業…………… 197万8千円
- 資料収集業務等…………… 27万円

※原子力発電と深地層研究施設に関する知識の普及に関する調査及び研修並びに連絡調整に関する事業に広報・調査等交付金を充当しています。

<原子力立地給付金事業の実施について>

電気料金の値上げや消費税増税等に対する生活支援の観点から、電源立地地域対策交付金の一部を給付金として交付します。(電灯契約口数×8,100円)

